

有機・バイオ材料拠点の紹介

拠点概要

中国センターに整備している有機・バイオ材料拠点では、有機材料の適材適所での使いこなし、ならびに、環境低負荷な有機・バイオ材料の社会実装を目指し、各種原料の調製から混合・成形加工まで一貫通貫で行うプロセス装置群や、部素材の構造と製品特性を紐づけるための分析・評価装置群を備えています。化学構造や高次構造、界面構造の解析技術を用いた樹脂・ゴム材料の製造プロセスの最適化、製品性能の向上を検討いたします。

【拠点が目指すもの】

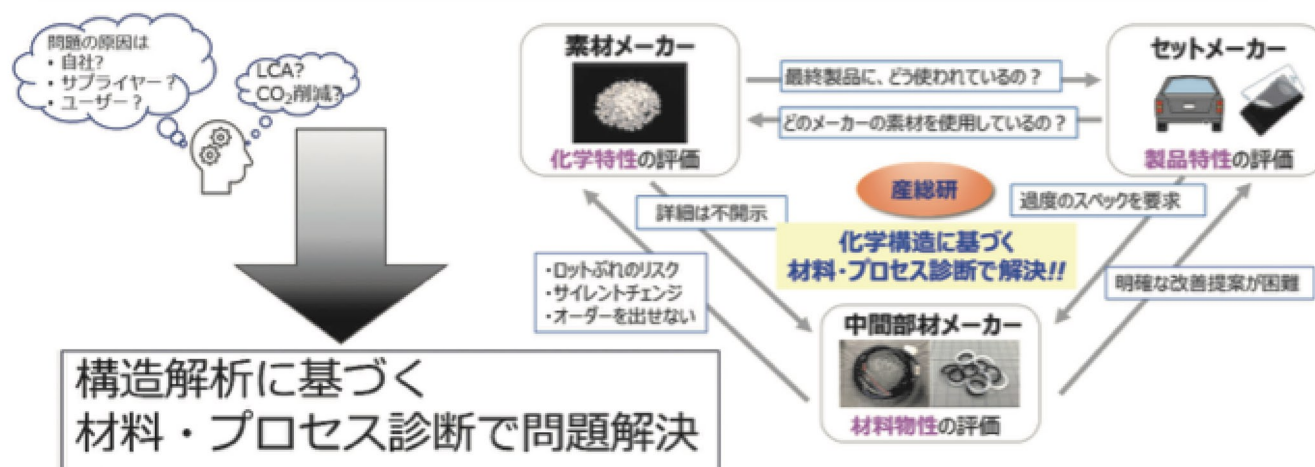
～技術と人を繋いで、未来を切り拓くサプライチェーンを創る～

当拠点では、材料・プロセス診断技術をベースに、地域の主要産業である自動車・関連部材（樹脂・ゴム等）に関わる川上から川下までの多様な企業との実証研究に取り組み、**サプライチェーンにおける「擦り合わせ力の強化」**や**「グリーン化」**（環境対応）を押し進めます。

同時に、「**学びの拠点**」と位置付け、ステークホルダー（企業、公設試、大学、自治体、中国経済産業局等）との協働を通して、牽引役となる技術人材の育成に取り組み、**技術とその担い手を切れ目なく繋ぐ**ことで、持続的な地域イノベーション・エコシステムの構築を目指します。

企業のお困りごと、課題点

- ・ サプライヤーとの議論が噛み合わない（化学特性 vs 物質特性）
- ・ 問題の真因に迫れない（「真の擦り合わせ」が不足）
- ・ 製品の構造・成分情報が不十分（コミュニケーションが取れない）



キーワード：樹脂・ゴム材料、成形プロセス、化学構造・高次構造、界面構造、劣化解析、トレーサビリティの確保、寿命評価、材料・プロセス診断



- 実験別棟の1階と研究本館の3部屋を拠点として整備
- 総床面積:約450㎡
- 計30点の有機・バイオ材料関連のプロセス装置及び分析・解析評価設備を導入